

教科	農業	科目	作物	単位数	2 単位	学年	2 年	コース	全
使用教科書	作物(実教出版)			使用副教材等	ワークシート、視聴覚教材、実習記録簿				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、作物の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	作物の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	作物の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	作物の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 農業鑑定競技 小テスト 実習技能の習得 実習記録簿 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 実習状況の観察 実習記録簿 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 実習・授業の様子 実習記録簿の内容 農業作文

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 実習では、特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。 また、自ら行動し(自主性)、仲間と協力して(協働)、最後まで集中して(責任感)取り組むようにしてください。 実習で学んだ内容は、実習記録簿に詳しく記入し、期限を守って提出することを心掛けてください。
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	○オリエンテーション ・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを理解する。	※(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度
		第1章 作物生産の役割と動向 1節 作物とは 2節 作物栽培の動向 ・作物が自分たちの食生活と密接に関わっていることを理解し、作物の生い立ちと品種改良の重要性の理解を深める。 ・安全な作物生産のため、トレーサビリティや農業生産工程管理、ポジティブリスト制度などさまざまな取り組みがなされていることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心な食品の供給や製造と作物生産との関わりについて理解できたか。(知) 作物生産の基本的な考え方と、作物品種の知的財産権について理解できたか。(知) ほかの生物種と調和して持続的に作物生産を行うことについて、考えられたか。(思)
	5 7	第2章 作物の特徴と栽培技術 1節 作物の種類と特徴 ①作物の種類と分類 ②作物の品種と改良 ⑦栽培方法や利用目的に応じた分類や、繁殖様式、日長反応、生育期間などによる分類について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 作物のさまざまな用途や栽培上の特徴から分類ができることについて、理解できているか。(知) 作物のさまざまな用途や栽培上の特徴について、興味をもって分類しようとしたか。(態)
2	9 1 2	第2章 作物の特徴と栽培技術 2節 作物の生育と生理 ①作物の生育とその一生 ②種子の形態と発芽 ③根・茎・葉の成長 ④葉と根の働き ⑤花芽の形成と発育 ⑥開花と結実 ⑦塊茎・塊根の肥大 ⑧収量とその成り立ち ・講義と授業内の実習で作物の栽培を通して、育苗管理に必要な知識と技術を習得させ、発芽の特性、育苗の様式と環境条件について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 作物の一生を理解できたか。(知) 根・茎・葉・枝の働きを理解できたか。(知) 花・果実と収量がどのようにして決まるかを理解できたか。(知) 作物の形態について学び、得た知識を実習に活かすことができているか。(知・思) 意欲を持って栽培実習に取り組み、責任を持って自らの役割を果たしているか。(思・態)
		3 1 2	第2章 作物の特徴と栽培技術 3節 栽培環境と生育の調整 ①生育と環境要因 ②生育と気象条件 ③生育と水 ④生育と土壌 ⑤生育と栄養 ⑥病害虫・雑草の防除 ⑦施設栽培と植物工場 ○一年間のまとめ ・作物の歴史について理解を深めるとともに、一年間の学習を振り返り、次年度の学習へ向けての準備を整える。